

Winter 2024

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

冬号

2024
Winter





第二弾!

んな場所にも遺跡があった!

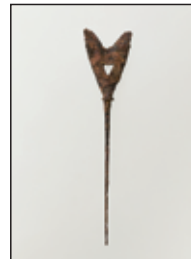


ふだんの生活の中では意識することのない遺跡。あまり知られていませんが、意外と身近な場所にあるんです。前号に引き続き、遺跡範囲が重なって隣接している学校を紹介します!

1 この学校にも! ? ~大宮小学校~

“こんなところに遺跡が!?”
学校編③

「大宮城跡」は、浅間大社の東側、大宮小学校を中心とした一帯に位置する遺跡です。中世に浅間大社の祭主を務め、武士としても活動した富士大宮司家の館跡と考えられ、いくつもの建物が建つ屋敷でした。国産の陶器や貿易陶磁器などの高級品、刀や、矢の先端に付ける「雁又鎌」という金属製品などが出土しており、武士の館としての姿が想像されます。



雁又鎌



石臼と茶臼



出土土器・陶磁器

2 この学校にも! ? ~第二中学校~

“こんなところに遺跡が!?”
学校編④

第二中学校の東、城山公園一帯に広がるのが「城山遺跡」です。忠霊塔の西側の狭い範囲に弥生時代後期の方形周溝墓3基が見つっています。周溝内には壺や甕が、胴や底に穴がつけられた状態(穿孔土器)で出土しています。これは、埋葬に伴う祭祀で使用した土器を再び使用することのないように、除霊的な行為がなされた結果と考えられています。



壺の底部穿孔土器



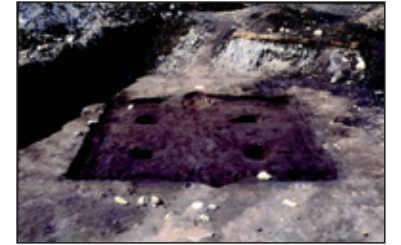
周溝内から出土した壺と甕 (右)

3 この学校にも! ? ~富士宮東高校~

“こんなところに遺跡が!?”
学校編⑤

富士宮東高校の敷地を中心に、古墳時代後期の「木ノ行寺遺跡」があります。発掘調査では、大小2軒の竪穴住居跡が見つかりました。住居の北側には竈が据えられ、柱穴が4つ確認されました。2軒の向きが異なっているため、人が住んでいた時期に若干の時間差があると思われます。

ほかに6世紀の溝が見つかり、古墳時代に継続的に人々が生活していた様子がわかります。



竪穴住居跡



須恵器 (左2点) と土師器坏

誰かに話したくなる! 考古学トリビアの壺

縄文土器の意外な名づけ親

みなさんご存じの“縄文”土器。その由来は意外かもしれません。明治時代、東京大学が作られると、外国から学者を雇って日本人学生に学問を教えました。その中に、エドワード・シルベスター・モースという学者がいました。彼は、東京都大森貝塚を発掘し、調査報告書(英文)を刊行。その報告書の中で、土器に縄目模様があることから「cord marked pottery」と名づけます。これを白井光太郎という学者が「縄紋」と訳しました。この名称が定着し、のちに「縄文」と書かれるようになりました。



市内の遺跡から出土した縄文土器



バックナンバー

これまでの『埋文ふじのみや』Vol.1～Vol.22は、富士宮市のホームページでご覧になれます。

合わせて、最新号も公開しています。



創刊号



Vol.2



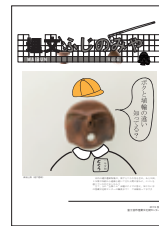
Vol.3



Vol.4



Vol.5



Vol.6



Vol.7



Vol.8



Vol.9



Vol.10



Vol.11



Vol.12



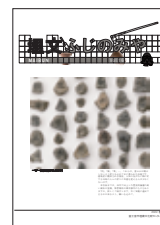
Vol.13



Vol.14



Vol.15



Vol.16



Vol.17



Vol.18



Vol.19



Vol.20



Vol.21



Vol.22

富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315

静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

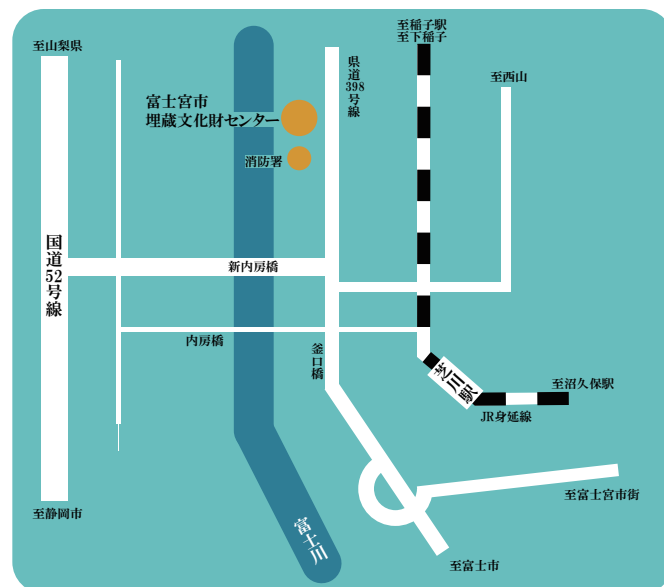
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

令和6年1月

もぐらのはなし 冬号 (通算 vol.23)

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター